



朝会の中での話を簡潔にまとめて紹介します。

皆さんおはようございます。7月に入りました。あと3週間で、夏休みになります。

今日のお話は、まずは反対語、反対言葉について考えてもらおうと思います。

「強い」の反対語は何でしょう？（多数が弱いと答える）そうですね。「弱い」です。

「遠い」の反対語は何でしょう？（多数が近いと答える）そうですね。「近い」です。

では、「ありがとう」の反対語は何でしょう？（ごめんなさい他様々な声）そうですね。そうとも考えられるよね。「ありがとう」の反対語は「当たり前」になるそうです。これは、ノーベル平和賞を受賞し、世界中の人から尊敬されたマザー・テレサの言葉だそうです。

毎日、当たり前のように思っていることは、実はいろいろな人のおかげでできていること、ありがたいことであり、それに対して、感謝の気持ちを込めて、「ありがとう」の言葉を行っています。

新町小の給食室での出来事を例に挙げると、順番を待っているときに、上の学年の人は、下の学年の人に「お先にどうぞ」と譲ってあげています。それに対して、下の学年の人は「ありがとう」と言うことができます。

また、先生から給食の食器を渡されたときにも、「ありがとうございます」と言うことができます。みんなの心の中に、譲ってくれるのが当たり前、渡してくれるのが当たり前だとは思わずに、ありがたいことと思い、感謝する心があるからその言葉が出てくるのだと思います。それは、皆さんの素晴らしいところ、すてきなところです。「ありがとう」と言われた方も、とっても温かい気持ちになれます。

では、立哨に立っているお家の人や放課後に帰りの安全を見守ってくれている地域の方、そして、朝、学校の周りをパトロールしてくれている大道交番の方は、どうでしょうか？当番だから、仕事だから、当たり前なのでしょうか？

それとも、ありがとうと感謝の気持ちを持つ方がいいのでしょうか？どちらですか？（多数の「感謝の気持ちを持つ方」との声）そうですね。「ありがとう」と感謝の気持ちを持つ方がいいですね。これから、朝、見かけたときには、「おはようございます。ありがとうございます。」帰りには、「ありがとうございます。さようなら。」と言えたらいいですね。今日は、ありがとうのお話をしました。